

第 1 号議案 非営利活動に係る活動報告

30 年度は設立準備委員会の開催、既存の居場所の関係者と協議をする事ができたり、定例会でも検討をする事ができた。しかしながら、チームも居場所もより具体的な展開には至っていない。しかし、活動を拡げることによって、昨年までより私たちの活動が認知されてきているようだ。講演会では、当事者の方の経験を基に精神科のあり方について討議をする事ができた。当事者の声を直接聞くことは、専門家も一般の方にとっても大変有意義な事と考える。次年度は ACT チームの魅力について県内に周知出来るよう計画をしたい。

(1) 特定非営利に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	参加者の人数	受益対象者の範囲	事業費の執行額(千円)
精神障がい者が地域で生活するための情報収集及び提供事業	ピアサポーター及び家族支援に関する DVD の視聴。	2 回	栗林コミュニティセンター	10 名	高松市民	10
精神障がい者が地域で生活するための医療技術及び援助技術の開発事業	ACT 設立準備委員会の設置と開催。	6 回	丸亀市にある法律事務所	30 名	香川県民	0
精神障がい者の職業能力開発又は雇用機会の拡充を支援する事業	精神障がい者の居場所に関する検討及び見学(関係者との面談)。	7 回	栗林コミセン、喫茶店、各居場所等	15 名	高松市民	5
重度精神障がい者の入院を回避し、自己実現を図ることを支援する電話、来所相談、及び訪問相談事業	ストレングスモデルによる訪問相談支援の実施。 → スtrenグスモデルによるカウンセリング	延回数 12 回	高松市内	1 名	高松市民	0
精神障がい者が地域で生活するための情報収集及び提供事業	精神科病院の入退院に関するシンポジウム。当事者の体験をもとに討議を行う。	1 回	栗林コミュニティセンター	40 名	香川県民	40
精神障がい者が地域で生活するための情報収集及び提供事業	まんばの会	1 回	栗林コミュニティセンター	7 名	香川県民	0

第 2 号議案 収益事業に係る活動報告

相談支援事業の対象者はおよそ100名強程になっている。入院の可能性のある方を中心に定着支援を支給していただいている。しかし、訪看やヘルパーを利用していない方は不調になる場合が多く、対応に苦慮している。地域でいかにネットワークを構築できるかが鍵になると理解できる。また、ACTチームのような手厚いケアがあれば、より早く回復できると実感している。4月より三光病院の退院を検討しているグループワークに参加できるようになった。

(2) その他の事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	事業費の執行額(千円)
相談支援事業	障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく障害福祉サービス事業	月 20 日	高松市、三木町、さぬき市、東かがわ市、丸亀市、坂出市	1 名	高松市民 100 名	1,500

第 3 号議案 管理部門貸借対照表・活動計算書および 相談支援事業部門貸借対照表・活動計算書の承認

以下より、30 年度管理部門と相談支援事業部門の貸借対照表と活動計算書を添付する。ご確認の上承認されたい。

第 4 号議案 2019 年度事業計画書の承認

2019 年度事業計画書

特定非営利活動法人高松Recovery&Hope

1 事業実施の方針

2019年度はまんばの会の周知と実施、居場所事業についての検討、ACT設立準備委員会の継続とイベントの実施を行う。イベントは設立準備委員会での検討内容に協力をして、ACT チームの魅力について県民に伝えるものとする。昨年度も実施したが、ACT について関心のある方とは積極的に面談を行い、チーム設置につなげる動きをする。また、定例会ではピア方の発表や居場所事業についての検討を重ねていく。

相談支援事業は、計画相談を中心に業務に無理のないように継続する。市内の精神科病院、自立支援協議会、精神保健福祉部会に参加、協力をしながら地域移行支援の利用者を得られるよう努力する。少しずつ、地域移行支援・地域定着支援が中心となるよう事業展開を進めていく。また、チーム設置に備えEVENの後継者を探す動きも進めていく。

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施予定日時	実施予定場所	従事者の予定人数	受益対象者の範囲及び予定人数	事業費の予算額(千円)
精神障がい者が地域で生活するための情報収集及び提供事業	当事者家族への情報提供。まんばの会の実施。	年4回	栗林コミュニティセンター	5名	高松市民 4家族	10
精神障がい者が地域で生活するための医療技術及び援助技術の開発事業	ACT 設立準備委員会の継続。	年6回	丸亀市にある法律事務所	9名	香川県民	30
精神障がい者が地域で生活するための医療技術及び援助技術の開発事業	ACT チームへの見学、研修。	年1回	フィデリティ調査を受けているチームがある県。	1名	高松市民	50
精神障がい者の職業能力開発又は雇用機会の拡充を支援する事業	居場所事業についての検討。地域住民を交えた会議の設置。	月1回	栗林コミュニティセンター	8名	高松市民	10
重度精神障がい者の入院を回避し、自己実現を図ることを支援する電話、来所相談、及び訪問相談事業	ストレングスマodelによる訪問相談支援の実施。	月1回	高松市内	1名	高松市民 1名	0
精神障がい者が地域で生活するための情報収集及び提供事業	設立準備委員会に協力をして、ACT チームの魅力について周知出来るイベントの開催。	年1回	高松市内	20名	香川県民 60名	60
精神障がい者が地域で生活するための情報収集及び提供事業	ピアの方の発表。当事者研究の発表。	年4回	高松市内	4名	高松市民	20

(2) その他の事業

事業名	事業内容	実施予定日時	実施予定場所	従事者の予定人数	受益対象者の範囲及び予定人数	事業費の予算額(千円)
相談支援事業	障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく障害福祉サービス事業	月 20 日	高松市、三木町、さぬき市、東かがわ市、丸亀市、坂出市	1 名	香川県民 105 名	1,600

第 5 号議案 寄付金を受けるための口座の設置について

ACT チーム設置が可能になってきた場合、資金となるような財産を持ち合わせていない。そのため、インターネット等で寄付を募るクラウドファンディングを利用し、募金を募りたいと考える。インターネットを利用していない人のためにも募金用の口座は準備しておくべきと考える。目的はあくまでも ACT チーム設置のためとする。

資料①

所信表明

先日 ACT-K の高木氏と会う事ができた。憧れの高木氏である。研修会では三品教授、ACT-Zero 岡山の西川氏のお話も聞いた。そこでの内容は、日本の精神保健の現状が変わっていない事、ACT チームの必要性はやはり反病院体制が基本にある点であった。訪問看護ねこのでの所長さんとも出会う事ができた。このような素晴らしい方はいないのかと思わず高木氏に訴えてしまったが、病院で腐っている人は必ずいるとの言葉をいただいた。設立準備委員会でも話されているが、まだまだ ACT チームは知られていない現状があり、事業実施の方針にもあるようにさらなる周知が必要である。

このように私たちが活動すること自体が ACT チームのための周知活動になっており、活動を続けていく中で私たちの哲学を共有することができる方と出会う事ができるのだと思う。重い方を地域でできる限りみていくという覚悟と決断をもって、その方のためのネットワークを作り出すのが ACT チームであり、この点が一般の訪問看護とは違う点である。ACT チーム設置のための準備は、私自身を含めてまだまだ足りない。しかし、病院の中に私たちに協力して下さる方がいるのかも知れない。その方に与えられたそれぞれのストレンクスを見出すのも私たちの哲学ではないのか。

② 次頁より

活動計算書

2018年4月1日から 2019年3月31日まで

2019/10/29 8:53:15

(単位 円)

勘定科目	金額	
I 経常収益		
1.受取会費		
正会員受取会費	37,000	
受取会費計		37,000
2.受取寄付金		
受取寄付金計		
3.受取助成金等		
受取助成金等計		
4.事業収益		
事業収益	3,901,157	
事業収益計		3,901,157
5.その他収益		
雑収入	540	
その他収益計		540
他会計からの繰入金収入計		
経常収益計		3,938,697
II 経常費用		
事業費		
(1)人件費		
給料手当	842,268	
法定福利費	328,443	
人件費計	1,170,711	
(2)その他の経費		
貸借料	2,360	
研修費	1,930	
その他の経費計	4,290	
事業費計		1,175,001
管理費		
(1)人件費		
役員報酬	1,406,312	
人件費計	1,406,312	
(2)その他の経費		
印刷製本費	3,445	
車両費	327,240	
通信運搬費	113,945	
消耗品費	3,348	
水道光熱費	58,119	
地代家賃	237,600	
貸借料	32,090	
支払手数料	17,172	
その他の経費計	792,959	
管理費計		2,199,271
他会計への繰出金支出計		
経常費用合計		3,374,272
当期経常増減額		564,425
III 経常外収益		
経常外収益合計		
IV 経常外費用		
経常外費用合計		

当期経常外増減額			
V 経理区分間振替額			
経理区分間振替合計			
税引前当期正味財産増減額			564,425
法人税・住民税及び事業税	-80,000		
当期正味財産増減額			484,425
前期繰越正味財産額			
次期繰越正味財産			484,425
指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額			
指定正味財産期末残高			
次期繰越正味財産額			484,425

活動計算書

2018年 4月 1日から 2019年 3月31日まで

2019/10/29 9:13:33

(単位 円)

勘定科目	金額		
I 経常収益			
1.受取会費			
受取会費計			
2.受取寄付金			
受取寄付金計			
3.受取助成金等			
受取助成金等計			
4.事業収益			
事業収益計			
5.その他収益			
その他収益計			
他会計からの繰入金収入計			
経常収益計			
II 経常費用			
事業費			
(1)人件費			
福利厚生費	34,631		
人件費計	34,631		
(2)その他の経費			
印刷製本費	685		
旅費交通費	9,700		
車両費	113,110		
通信運搬費	197,063		
消耗品費	42,338		
貸借料	3,360		
研修費	10,238		
支払手数料	2,732		
雑費	53,200		
その他の経費計	432,426		
事業費計		467,057	
管理費			
(1)人件費			
(2)その他の経費			
管理費計			
他会計への繰出金支出計			
経常費用合計			467,057
当期経常増減額			-467,057
III 経常外収益			
経常外収益合計			
IV 経常外費用			
経常外費用合計			
当期経常外増減額			
V 経理区分間振替額			
経理区分間振替合計			
税引前当期正味財産増減額			-467,057
当期正味財産増減額			-467,057
前期繰越正味財産額			
次期繰越正味財産			-467,057
指定正味財産増減の部			

当期指定正味財産増減額			
指定正味財産期末残高			
次期繰越正味財産額			-467,057

貸借対照表

2019年3月31日

2019/10/29 9:09:17

(単位 円)

勘定科目	金額	
I 資産の部		
1. 流動資産		
現金預金	102,584	
現金	50,500	
預金1	52,084	
立替金	-85,000	
流動資産合計		17,584
2. 固定資産		
(1)有形固定資産		
(2)無形固定資産		
(3)投資その他の資産		
固定資産合計		
資産の部合計		17,584
II 負債の部		
1. 流動負債		
短期借入金	-466,841	
流動負債合計		-466,841
2. 固定負債		
固定負債合計		
負債の部合計		-466,841
III 正味財産の部		
1. 指定正味財産		
指定正味財産合計		
2. 一般正味財産		
前期繰越正味財産		
当期正味財産増減額		484,425
一般正味財産合計		484,425
正味財産の部合計		484,425
負債及び正味財産の部合計		17,584

貸借対照表

2019年3月31日

2019/10/29 9:18:45

(単位 円)

勘定科目	金額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	-216		
預金I	-216		
流動資産合計		-216	
2. 固定資産			
(1)有形固定資産			
(2)無形固定資産			
(3)投資その他の資産			
固定資産合計			
資産の部合計			-216
II 負債の部			
1. 流動負債			
短期借入金	466,841		
流動負債合計		466,841	
2. 固定負債			
固定負債合計			
負債の部合計			466,841
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計			
2. 一般正味財産			
前期繰越正味財産			
当期正味財産増減額		-467,057	
一般正味財産合計			-467,057
正味財産の部合計			-467,057
負債及び正味財産の部合計			-216

財産目録

2019年3月31日

(単位 円)

資産・負債の内訳	金額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	102,584		
現金	50,500		
預金1	52,084		
立替金	△85,000		
流動資産合計		17,584	
2. 固定資産			
(1)有形固定資産			
(2)無形固定資産			
(3)投資その他の資産			
資産の部合計			17,584
II 負債の部			
1. 流動負債			
短期借入金	△466,841		
流動負債合計		△466,841	
2. 固定負債			
負債の部合計			△466,841
正味財産			484,425

財産目録

2019年3月31日

(単位 円)

資産・負債の内訳	金額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	△216		
預金1	△216		
流動資産合計		△216	
2. 固定資産			
(1)有形固定資産			
(2)無形固定資産			
(3)投資その他の資産			
資産の部合計			△216
II 負債の部			
1. 流動負債			
短期借入金	466,841		
流動負債合計		466,841	
2. 固定負債			
負債の部合計			466,841
正味財産			△467,057